

讚 秋 賦

昭和13年 谷本 義雄 詞・曲

Largo mp

ふうく やあき かぜ きよら け
みよーり をさ らん いまこ こに
になでひ とつに みもこころも
しーずむ ゆーひよ たそがーれよ

讚 秋 賦

1. 吹くや秋風 清らけく
名利を去らん 今ここに
放て一つに 身も心も
沈む夕日よ たそがれよ
2. 今し更けゆく 秋の夜に
懸かれる星の 空高く
語れもろとも 我が友よ
眞理の旅路 いや遠し
3. 逝きて帰らぬ 渡良瀬に
流離う心の 涯しなく
歌え無量の 心もて
久遠の詩こそ わが理想
4. 静寂に聞こゆる 松風も
故郷恋しの 空耳か
結べ仮寝の 弓枕
想いは遠し 青葉城